

第2期山鹿市いのちを支える自殺対策計画（素案）に関する 意見募集の結果及び市の考え方について

令和6年4月4日
山鹿市福祉部健康増進課

「第2期山鹿市いのちを支える自殺対策計画（素案）」について、市民の皆様からの御意見等を募集しましたので、寄せられました御意見等の概要と、これらに対する市の考え方を下記のとおり公表します。

御意見等をお寄せいただきありがとうございました。

記

- 1 募集期間 令和6年2月5日（月）～令和6年3月5日（火）
- 2 意見の件数 3件（2人）
- 3 意見の取扱い ①計画案に反映する ②施策反映させるための参考とする
 ③反映できない ④その他
- 4 意見・提案の概要と市の考え方

No	意見・提案の概要	市の考え方	取扱区分
1	<p>推進体制にあるそれぞれの機関や部署は、自殺問題に関係はしていても主な仕事とは言えない状態なのではないか。 自殺者の多くは高齢の男性で、健康や仕事・経済的理由等で悩まれ自殺に至ると考察されている。 そうであれば、地域住民に日頃から身近に接しておられる民生委員さん、福祉協力員さん、区長さん、サロンボランティアさん、老人会や消防団の皆さん、農業委員さんの方々に協力をお願いすることが効果的ではないか。</p>	<p>自殺を考えられている方も含めいろいろな悩みをお持ちの方の個人情報や、区長さん等に提供することは、個人情報保護の課題もあります。 地域の中で活動される際に、お気付きの点や気になる方がいらっしゃいましたら、本市（健康増進課）に情報提供いただくことで、区長さん、民生委員さん等と連携しながら一緒に問題を解決していきます。</p>	④
2	<p>「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指すのであれば、自殺対策の目標値は、自殺死亡率も自殺者数も0人にすべきではないか。</p>	<p>3ページに記載している目標値につきましては、国や県の目標値を参考に、本市の動向を踏まえて設定しているものです。</p>	③
3	<p>自殺が増える要因のひとつに「一人で抱え込んでしまう」という問題があると思うので、交流の機会となるマーケットやイベントが開かれるような広場が街の中心地にあるといいと思う。</p>	<p>様々な問題を一人で抱え込んでしまわないように、相談窓口の周知に努めるなど、悩んでいる人が相談しやすい環境づくりに取り組んでいます。 今後も、本市や関係機関が開催するイベント等の場を活用して、自殺予防の啓発活動に努めます。</p>	④